

# カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

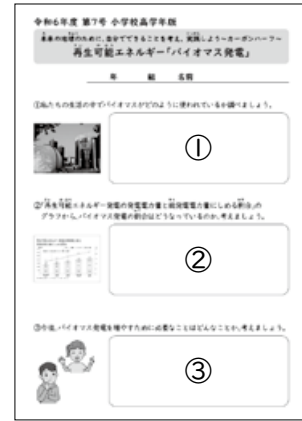
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

## カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～  
再生可能エネルギー「バイオマス発電」

### ①表題



### ②ねらい

- ・バイオマスについて知る。
- ・バイオマス発電は、地球環境に優しい再生可能エネルギーによる発電の一つであることを理解する。
- ・木質バイオマス発電は、二酸化炭素の排出が実質ゼロといわれていることを知る。
- ・地域の特性を生かしたバイオマス発電の事例について知る。
- ・今後、バイオマス発電をどのように活用するかなど、自分たちが参加できる温室効果ガス削減の取組について考え、実践しようとする意欲をもつ。

### ③本教材で扱う 主な内容

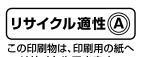
バイオマス、再生可能エネルギーの一つであるバイオマス発電と温室効果ガスの関係、地域の特性を生かしたバイオマス発電の事例、自分たちにできる温室効果ガス削減の取組

### ④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○揭示用教材①を見て、バイオマスやバイオマス発電について知る。	○バイオマスは再生可能エネルギーの一つであること、バイオマス発電は、二酸化炭素の排出が実質ゼロであることを説明する。	◆揭示用教材①
○揭示用教材②を見て、バイオマスは地球に優しいエネルギーであることを知る。	○イラストを拡大して提示し、説明する。	◆揭示用教材②
○揭示用教材③を見て、地域の特性を生かしたバイオマス発電の事例について知り、バイオマスの様々な用途について調べる。	○地域の特性を生かしたバイオマス発電の事例について説明する。	◆揭示用教材③ ◆ワークシート①
○揭示用教材④を見て、バイオマス発電の発電電力量の推移を考える。	○グラフを拡大して提示する。	◆揭示用教材④ ◆ワークシート②
○揭示用教材⑤を見て、今後、バイオマス発電を増やすために必要なことを考える。	○バイオマス発電のよい点や課題を基に考えるよう、声掛けをする。	◆揭示用教材⑤ ◆ワークシート③



※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。  
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料1号から7号の教材、指導資料、ワークシート、イラストや図表等を公開しています。



# 令和6年度 第7号 小学校高学年版

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～  
再生可能エネルギー「バイオマス発電」

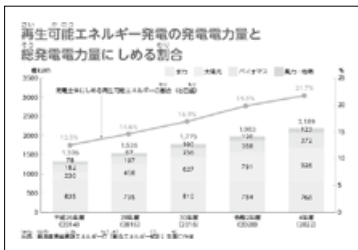
年 組 名前

①私たちの生活の中でバイオマスがどのように使われているか調べましょう。



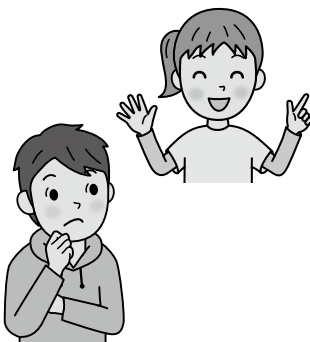
Blank space for students to write their observations or findings about biomass usage in daily life.

②「再生可能エネルギー発電の発電電力量と総発電電力量にしめる割合」のグラフから、バイオマス発電の割合はどうなっているのか、考えましょう。



Blank space for students to analyze the chart and discuss the trend of biomass's share in total electricity generation.

③今後、バイオマス発電を増やすために必要なことはどんなことか、考えましょう。



Blank space for students to discuss and list necessary measures to increase biomass power generation in the future.